

MMアンバサダーの育成

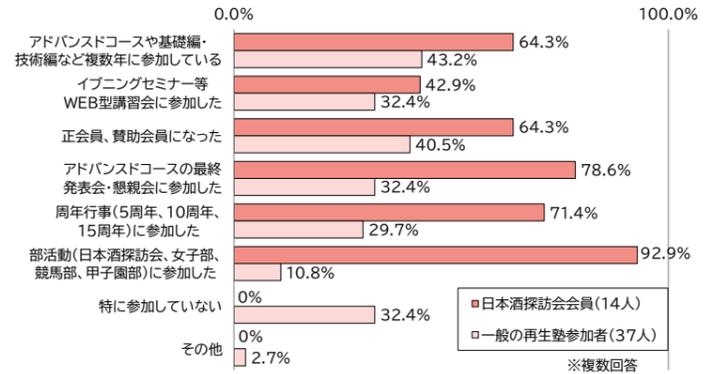
NPO 法人再生塾 日本酒探訪会

1. 日本酒探訪会とは…

- ・NPO 法人再生塾の修了生が設立したユニークな親睦団体であり、日本酒という文化的なキーワードを通じて、公共交通を利用した現地視察を行い、地域の歴史やまちづくりを学んでいる。
- ・日本酒探訪会は、再生塾本体や参加者同士と繋がる重要なハブの一つとして機能している。会員のアドバンスドコースへの継続参加や部活動への積極的な関与は、日本酒探訪会が学びと交流のプラットフォームとして深く根付いている証である。



■NPO 法人再生塾への参加後の再生塾との関わり



2. その活動は…

- ・我が国の食文化の一つである「日本酒」をキーワードにした現地視察型の勉強会を平成 29 年 4 月から令和 7 年 8 月まで 20 回開催 (8 年間で延べ 213 人 (約 11 人/回) の参加) している。
- ・勉強会では、公共交通を利用した酒蔵巡りを行い、その土地の歴史文化資源や食、まちづくりのポイントとなる施設等を探訪している。
- ・また、毎回会報「日本酒探訪会だより」を作成・配布し、会員間で情報共有することにより、継続的な学びの場としている。



3. 活動の効果は…

・日本酒探訪会の活動は、これまで次のような効果があると認識していた。

- 行政・民間・大学等からなる会員相互の交流継続
- まちや地域、交通への関心や関わり意識の向上
- 質問力やコミュニケーション技術の向上

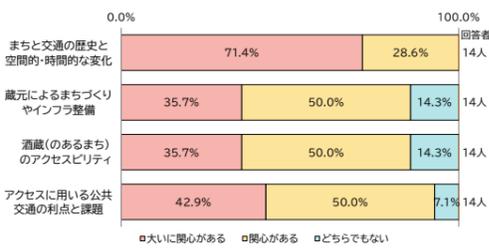
・活動効果を把握するため、令和 7 年 8 月にアンケート調査を実施した。アンケート調査結果は、会員が公共交通の利用やその魅力発信に極めて高い関心を持っていることを示している。勉強会の体験が、まちと交通の課題をより身近なものとして捉え、自発的な行動を促すきっかけとなっている。

・すなわち、この活動は単なる交流に留まらず、参加者のまちと交通問題への意識を高め、

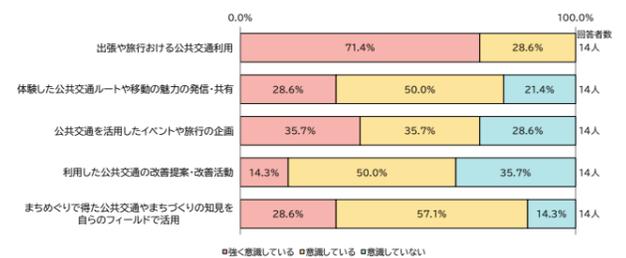
自発的な「モビリティ・マネジメント(MM)アンバサダー」を育成する土壌となっている。

・会員それぞれが普段活躍する場において、周囲の人々に、「電車・バスを使ってみようか?」と思わせる「MMアンバサダー(伝道師)」の役割を担う効果を発揮している。

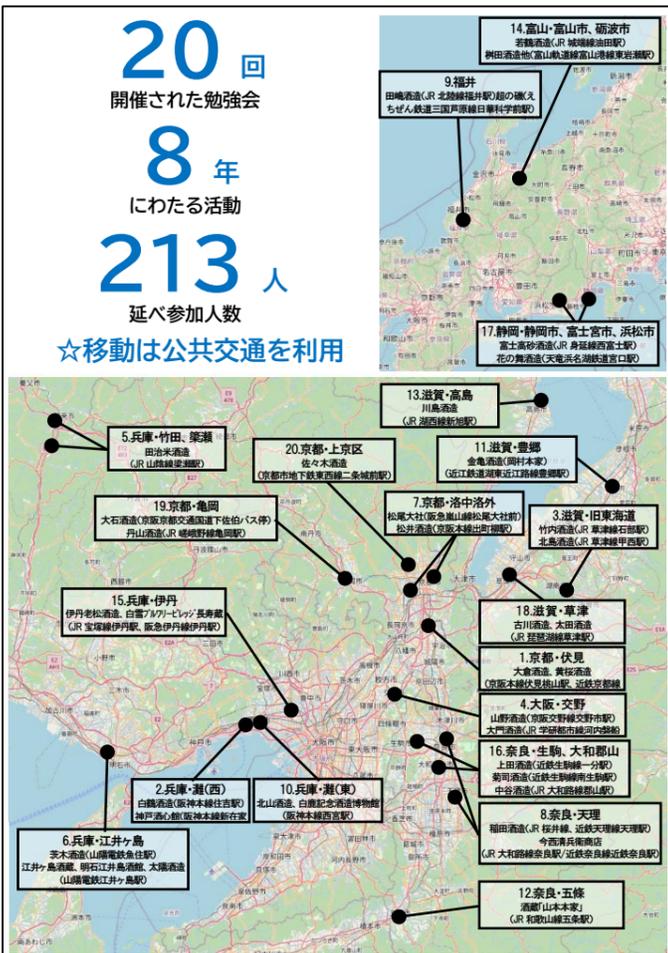
■交通やまちづくりに関する気づき



■自発的なMM行動への取組状況



■「NPO 法人再生塾 日本酒探訪会」訪問地一覧図



4. 今後の展開は…

- ・日本酒探訪会では、こうした成果を踏まえ、年3回程度の勉強会を継続していくこととしている。
- ・さらに、「NPO 法人再生塾」における現地体験型の人的交流と、MMを担う人材育成の新たな取組を提案している。

■NPO 法人再生塾参加者の交流に向けた取組意向

